

評価点が4点又は5点の場合は、水色の欄に、環境配慮設計の概要を具体的に記入してください。

■使用評価マニュアル: CASBEE礼拝(ver.1.0)
 ■評価ソフト: CASBEE_Sapporo2007v1.0

メインシート
←

CASBEE礼拝(ver.1.0)
 北海道芸術デザイン専門学校

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
	W	G	S							
Q 建築物の環境品質・性能										
Q-1 室内環境										
					2.7	0.15	-	-	2.7	
1 音環境					3.0	0.40	-	-		
1.1 騒音					3.0	1.00	3.0	-		
1 騒音レベル					-	-	-	-		
2 設備騒音対策					-	-	-	-		
1.2 遮音					2.3	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能					2.0	0.40	3.0	-		
2 界壁遮音性能					3.0	0.30	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					2.0	0.15	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					2.0	0.15	3.0	-		
1.3 吸音					3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境					2.2	0.35	-	-	2.2	
2.1 室温制御					3.0	0.50	-	-		
1 室温設定					3.0	0.60	3.0	-		
2 負荷変動・過渡制御性					-	-	-	-		
3 外皮性能					3.0	0.40	3.0	-		
4ゾーン別制御性					3.0	-	-	-		
5 温度・湿度制御					-	-	-	-		
6 湿度制御					-	-	-	-		
7 換気・空調に対する配慮					-	-	-	-		
8 監視システム					-	-	-	-		
2.2 湿度制御					2.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式					1.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境					2.6	0.25	-	-	2.6	
3.1 昼光利用					1.8	0.30	-	-		
1 昼光率					1.0	0.60	3.0	-		
2 方位別開口					-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策					3.0	0.30	-	-		
1 窓面遮光のグレア					-	-	-	-		
2 昼光制御					3.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度					3.0	0.15	-	-		
1 照度					3.0	1.00	3.0	-		
2 照度均斉度					-	-	-	-		
3.4 照明制御					3.0	0.25	3.0	-		
4 空気環境					4.4	0.25	-	-	4.4	
4.1 発生源対策					5.0	0.50	-	-		
1 化学物質汚染					5.0	1.00	3.0	-		
2 汚染物質対策					-	-	-	-		
3 タンクに等					-	-	-	-		
4 レンゾナ対策					-	-	-	-		
4.2 換気					3.0	0.30	-	-		
1 換気量					3.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能					3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.33	3.0	-		
4 給気計画					-	-	-	-		
4.3 運用管理					5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視					-	-	-	-		
2 喫煙の制御					5.0	1.00	-	-		
Q-2 サービス性能										
1 機能性					2.2	0.40	-	-	2.2	
1.1 機能性・使いやすさ					1.0	0.60	-	-		
1 広さ・収納性					-	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応					3.0	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画					1.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性					4.0	0.40	-	-		
1 広さ感・景観					3.0	0.50	3.0	-		
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-		
3 内装計画					5.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性					2.8	0.31	-	-	2.8	
2.1 耐震・免震					3.0	0.48	-	-		
1 耐震性					3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数					3.1	0.33	-	-		
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					3.0	0.29	-	-		
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					4.0	0.12	-	-		
3 配管・配線材の更新必要間隔					3.0	0.29	-	-		
4 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.29	-	-		
2.3 適切な更新					-	-	-	-		
1 壁土(屋根)・外壁仕上げ材の更新					-	-	-	-		
2 配管・配線材の更新					-	-	-	-		
3 主要設備機器の更新					-	-	-	-		
2.4 信頼性					2.2	0.19	-	-		
1 空調・換気設備					3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備					1.0	0.20	-	-		
3 電気設備					1.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備					3.0	0.20	-	-		

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					2.5	0.29	-	-	2.5
3.1 空間のゆとり					2.8	0.31	-	-	
1 階高のゆとり					2.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ				教室を大空間とし、簡易パーティションを用いている	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり					2.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性					2.8	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性					1.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G		庇やバルコニーによって壁面位置を調整し外部への圧迫感に対し配慮している	5.0	0.20	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮					4.0	0.40	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	外壁の一部に札幌軟石を使用。内部に一般市民に開放されたギャラリー	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50	-	-	
LR 建築環境の配慮と省資源					-	0.30	-	-	3.4
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.0
1 建物の熱負荷抑制	W			南面全面にバルコニー、庇を設けた。	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			すべての空調調和装置の冷房能力の70%以上に対して、冷暖房平均	4.6	0.30	-	-	4.6
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護					3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水	W				3.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 経路環境負荷材					3.0	0.85	-	-	3.0
2.1 資源の再利用効率					2.3	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W				3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W			躯体+軽鉄+仕上げ	4.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.3	0.18	-	-	
1 消火剤	W			一切使用していない	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.9
1 大気汚染防止	W			燃焼機器を使用していない	5.0	0.15	-	-	5.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.10	-	-	3.0
2.1 騒音					3.0	0.33	-	-	
2.2 振動					3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照障害の抑制					3.0	0.10	-	-	3.0
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制				室内は最小限の照明機器とし、屋外の広告塔には照明を設置していない	5.0	0.05	-	-	5.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30	-	-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.6	0.30	-	-	3.6
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制					5.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W	S		荷捌き用、ゴミ収集用の駐車スペースを2箇所設けている	3.0	0.30	-	-	

LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分 総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		4,683 m ²	5.0	-	-	5.0
3 設備システムのERRIによる評価		-	-	-	-	4.6
3 高効率化 個別設備による評価		-	-	-	-	
3.1 空調設備		-	5.0	-	-	-
3.2 換気設備		-	3.0	-	-	-
3.3 照明設備		-	4.0	-	-	-
3.4 給湯設備		-	-	-	-	-
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	-